

平成27年度施政方針関係施策(事業)の実績

平成27年度施政方針に掲げられた施策・事業の取り組み実績は次のとおりです。

年度末実績自己評価 : ○実施済、△一部実施済、×未実施等

H27施策(事業)名	H27施策等概要	実績内容	未実施、一部実施となった理由 その他問題点・課題点等	自己評価	担当課
◆保健福祉施策					
①子ども医療費助成	<p>中学校卒業までの医療費の自己負担分を助成し、1回につき200円として、子どもの保健の向上と保護者の経済的負担の軽減を図ります。ひとり親福祉推進事業として、医療費等の自己負担分の一部助成を行います。</p>	<p>【子ども医療費助成事業】 中学校3年生までを対象に、入院・通院・調剤の保険対象医療費の助成を行いました。</p> <p>◎平成27年度実績 子ども医療費助成額(扶助費) 57,709千円 (補助対象児2,635人/子ども総数2,781人) (参考)</p> <p>・平成25年度 子ども医療費助成額(扶助費) 56,471千円 (補助対象児2,702人/子ども総数2,837人)</p> <p>・平成26年度 子ども医療費助成額(扶助費) 59,224千円 (補助対象児2,668人/子ども総数2,801人)</p> <p>【ひとり親福祉推進事業】18歳の年度末までの児童をもつ母子家庭の母、父子家庭の父及びその児童に、入院・通院・調剤の保険対象医療費の一部を助成しました。</p> <p>◎平成27年度実績 ひとり親家庭医療費助成額(扶助費) 2,841,517円</p>	<p>平成25年8月より、子ども医療費助成の内、通院助成の対象年齢を、「小学6年生」から「中学3年生」まで引き上げましたが、県の子ども医療費助成補助金は、通院1回300円で、かつ、小学3年生までが対象のため、100円の差額、かつ、小学4年生以上は町の単独事業となります。年々、町の子ども医療費助成実績は増加しており、比例して町の単独事業費も増加することになりますので、県内市町村の子ども医療費助成事業の動向に注視し、適切な事業運営に努めていきます。</p>	○	こども課・健康福祉課

H27施策 (事業)名	H27施策等概要	実績内容	未実施、一部実施となった理由 その他問題点・課題点等	自己評価	担当課
②保育の充実	<p>「子ども・子育て新制度」のスタートにあたり、保育園の開園時間を延長し、保育料の値下げを行うなど、子育て家庭を支援します。また、子ども・子育て支援拠点を2か所設置し、週3日保育士等による子育て中の親子の交流促進や育児相談を行います。さらに、町立保育園での英語指導を引き続き実施します。</p>	<p>・保育の利用時間及び時間外保育 【岩橋保育園】 標準時間保育 午前7時～午後6時(時間外保育;保育終了時間～午後8時) 短時間保育 午前9時～午後5時(時間外保育;標準時間保育内) 【中央保育園】 標準時間保育 午前7時～午後6時(時間外保育;保育終了時間～午後7時) 短時間保育 午前9時～午後5時(時間外保育;標準時間保育内) 【昭苑保育園】 標準時間保育 午前7時30分～午後6時30分 (時間外保育;午前7時～午前7時30分、午後6時30分～午後7時) 短時間保育 午前9時～午後5時 ・地域子育て拠点事業 あいあいルーム(酒々井町役場内) 延べ利用児童数 2,442人 しょうえんこどもこそだてルーム(昭苑幼稚園内) 延べ利用児童数 626人 英語指導の実施 計48回 対象 中央保育園・岩橋保育園 3～5歳児 実施方法 毎週、年齢ごと、1回15分程度</p>	<p>保育園の利用に関する利便性が高まったこともあり、利用の希望が大変多く、岩橋保育園、昭苑保育園は定員を超えて受入れしています。また、一時保育の希望も多く、希望に添えないことや、希望する施設を利用できないこともありました。 今後、一時保育の受け入れ体制の整備など、さらに子育て支援を進めます。</p>	○	こども課
③放課後子ども事業	<p>放課後子ども教室は、地域の方々の協力を得て児童の健全育成を図り、放課後児童クラブは、3クラブの円滑な運営と、新たに小学校6年生までの児童の受け入れに対応していきます。</p>	<p>【放課後子ども教室】 町内小学校2校の体育館等で、週1回、放課後に地域の大人や大学生と運動したり、創作活動等を行う事業。NPO法人B-Net子どもセンターと協定を結び、企画・運営については所属する大学生が中心に実施。 登録児童数 酒々井小312人 大室台小342人 合計 654人 年間開催日 酒々井小(火曜日)28回 大室台小(月曜日)24回 年間児童参加延数 酒々井小1,174人 大室台小1,560人 【放課後児童クラブ】 共働き家庭などの児童に対して、生活の場を提供する事業。平成27年度より小学6年生までの受け入れを実施。 酒々井小学校児童クラブ58人、大室台小学校児童クラブ48人、学校法人堀口学園酒々井児童クラブ58人の児童が在籍。酒々井小及び大室台小学校児童クラブ運営は、保護者や地域住民からなる運営委員会に委託。 各小学校の児童クラブは、日曜、祝日、年末年始を除く月曜日から土曜日までの放課後から夜7時15分まで(土曜日及び長期休業中は朝7時から夜7時15分まで)</p>	<p>子育て支援新制度のスタートに伴い、各小学校放課後児童クラブの入所対象児童を国の基準に合わせ小学校6年生までとして受け入れました。しかし、平成28年度新1年生の保育ニーズの増加に伴い、国の児童1人当たりの保育標準面積を下回ることとなり、将来的な人口動態と保育ニーズを検討した結果、酒々井小学校は余裕教室の拡張工事を、大室台小学校は余裕教室の活用で対応します。 また、今後において運営形態を見直す必要があるため、各運営委員会と協議していきます。</p>	○	こども課

H27施策 (事業)名	H27施策等概要	実績内容	未実施、一部実施となった理由 その他問題点・課題点等	自己 評価	担当 課
④高齢者・介 護支援・予防	<p>災害時要援護者名簿登録制度を推進し、特に、75歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯を対象に、平常時の「見守り」や「声かけ」、非常時の避難支援などを行います。</p> <p>60歳以上の方の要介護状態への移行を予防するための生きがいデイサービス事業や、75歳以上を対象にした老人福祉大会、介護予防や生きがいづくりを目的に80歳の青年式を開催します。</p> <p>高齢者の総合的な支援を行う地域包括支援センターの円滑な運営支援と、ボランティア活動を行う高齢者にポイントを付与する介護支援ボランティア制度を実施します。</p>	<p>・災害時要援護者名簿登録制度:247件 民生委員児童委員を中心に定期的な見守りを実施して、非常時の支援に備えています。</p> <p>・生きがいデイサービス事業を実施 週3コース(隣保館:水曜会30名、金曜会27名 社会福祉協議会:火曜会29名)</p> <p>・老人福祉大会を開催 75歳以上の高齢者461名参加 88歳(米寿)顕彰者25人</p> <p>・80歳の青年式開催 56名参加 顕彰者4名</p> <p>・地域包括支援センターの運営業務を社会福祉法人に委託(委託料20,178千円)</p> <p>・介護支援ボランティア登録制度 登録人数42人(活動人数22人) 登録事業所7カ所(活動事業所4カ所)</p>	<p>高齢者等で支援が必要な方が安心して暮らすためには、平常時の「見守り」が必要であることから、異変や支援が必要な高齢者等を早期に発見するため、民間事業者との連携したネットワークづくりの構築に努めます。</p>	○	健康福祉課
⑤生きがい創 造支援	<p>シルバー人材センターの機能充実に向けた支援を行います。また、地域の環境を活力ある高齢者すなわち創年の方々と町が協働して改善する事業を試行的に行います。</p>	<p>高齢者の生きがい支援として、豊かな経験と能力を積極的に活かす為の就業を援助し、健康増進に資するシルバー人材センターの機能充実に向けた支援を行いました。また、農地の荒廃により、周辺で暮らす住民や通学路等として利用する子供たちに支障をきたす地域の環境を、高齢者の力と町の協働で改善する事業を試行的に行いました。</p>	<p>高齢者(会員)が長年培った豊かな経験と能力を活かし、健康で生きがいを感じる事業を取り入れ、更に会員を増やせるよう施策を進めていきます。</p>	○	住民協働課
⑥認知症施策	<p>認知症の人とその家族が安心して暮らしていける支援体制の取り組みを検討し、認知症施策を推進します。</p>	<p>認知症を正しく理解し支援するため、新規採用職員を対象に「認知症サポーター養成講座」を実施しました。</p> <p>・実施日(5月8日)</p> <p>・受講者数(13人)</p>	<p>新規採用職員等にこだわらず、小・中・高生と低年齢層からサポーターを要請し、拡充を図っていきます。</p>	○	健康福祉課

H27施策 (事業)名	H27施策等概要	実績内容	未実施、一部実施となった理由 その他問題点・課題点等	自己評価	担当課
⑦健康づくり	特定年齢の方に乳がん、子宮頸がん、大腸がん、肝炎ウイルス及び骨粗しょう症予防検診を無料で行います。また、40歳以上の方に歯科の無料検診を行います。	健康手帳の交付 369冊 健康相談 来所者延べ442人、電話延べ35件 歯科健康相談 延べ8件 乳がん検診 エコー159人 乳がん検診 マンモグラフィ1方向 1,184人、2方向 63人 (内クーポン225人) 子宮頸がん検診 751人(内クーポン115人) 大腸がん検診 2,317人(内クーポン236人) 胃がん検診 1,318人 結核・肺がん検診 1,931人 成人歯科検診 101人 骨粗しょう症予防検診 301人 骨粗しょう症予防セミナー(検査含む) 17人	がん検診については、特に40・50歳代の若い年齢層の受診者数が少ないため、さらに周知を図っていきます。 成人歯科検診についても、受診者数の増加を図るため、さらなる周知をしていきます。	○	健康福祉課
⑧母子保健	妊婦健診、乳児健診、マタニティ・ママバパクラス、心理発達相談などの事業メニューにより子育て支援に取り組みます。なかよしはみがき教室を開催し、保育園・幼稚園児に歯科保健指導を行います。 ことばの教室を開催し、就学前に個別指導を行い、発達を促します。4か月乳児相談時に健やかな発育を促すために絵本を配付します。不育症で治療を受けているご夫婦に治療費の一部を助成します。	母子健康手帳交付 136件 / 新生児訪問指導 121件 養育支援訪問 9件 / マタニティ・ママバパクラス(1コース実施) 実人数(妊婦 23人、家族 12人)延べ52人 乳児相談(4か月児) 対象者137人 参加者121人(88.3 %) // (10か月児) 対象者133人 参加者114人 85.7 % 1歳6か月児健康診査 対象者120人 受診者113人(94.2 %)6回実施 2歳児歯科健康診査 対象者135人 受診者 93人(68.9 %)4回実施 3歳児健康診査 対象者134人 受診者120人(89.6 %)6回実施 ゆりかごルーム 31回実施 延べ293組 幼児健診事後指導 12回実施205組 / 親子相談 12回実施 延べ25組 ことばの教室 15回実施 延べ69人 / ブックスタート 136組 なかよしはみがき教室 4回実施 対象者 年長組89人(年中組10人、年少組11人) (酒々井幼稚園:41人、岩橋保育園:26人、中央保育園:10人、昭苑保育園:33人)	・乳児相談の参加率は90%を下回っていますので、来所しない母子に対しては電話や訪問で状況を伺い、未把握の母子がいないように支援を徹底していきます。 ・2歳児歯科健康診査の受診率が低いため、健診の必要性についての周知および未受診者に再通知し、受診率の向上に努めます。	○	健康福祉課
⑨予防接種	学童、生徒及び65歳以上の方等に対して予防接種を行い、感染症の流行防止に努めます。	ヒブ 485人、小児用肺炎球菌 478人、四種混合 461人、 単抗原ポリオ 38人、BCG 129人、 麻しん風しん混合 1期112人、2期125人、日本脳炎 540人、 ジフテリア破傷風混合 139人、高齢者肺炎球菌 432人 (以上、H27年4月～H28年2月実施分まで) 高齢者インフルエンザ 3,080人(平成27年度実績)	予防接種の未接種者および接種の遅れている者に対し、予防接種の意義を説明し、健診や相談等あらゆる機会を利用し勧奨を行っていきます。	○	健康福祉課

H27施策 (事業)名	H27施策等概要	実績内容	未実施、一部実施となった理由 その他問題点・課題点等	自己評価	担当課
◆教育文化施策					
①特色ある幼児教育	豊かで特色ある幼児教育推進のため、私立幼稚園に補助金を、また、保護者には私立幼稚園就園奨励費補助金を交付します。	<p>【私立幼稚園運営費及び教材費補助金】 酒々井町内2園に対し、運営費各園200千円、教材費225千円(町内在住園児数225人分)を補助しました。 運営費補助金については、運動会や生活発表会等の幼稚園活動において必要な備品に、教材費については、園児1人千円を園児の日常使用する教育教材に充てられています。</p> <p>【私立幼稚園就園奨励費補助金】 酒々井町、佐倉市、成田市、芝山町の幼稚園11園に対し、園児258人分、補助金額33,356千円を交付しました。</p>	私立幼稚園における幼児教育の推進と保護者の経済的負担軽減のため、今後も補助事業を実施します。	○	こども課
②学校教育の充実	町公共図書館と学校図書館との連携により、学校図書館機能の充実を図ります。また、特色ある教育活動を積極的に推進するため、「小・中学校スクールサポート事業」、「教職員の特色ある教育活動支援事業」などに取り組みます。	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校における調べ学習等の際に町公共図書館との連携が図られ、学校図書館への図書の出がスムーズに実施できました。 学校や学級の実態を考慮し、個に対応するなどきめ細かな教育活動を実施しました。また、「教職員の特色ある教育活動支援事業」では3件の研究申請があり、各校の教員が主体的に授業改善を進めようとしていることが伺えました。3件の研究プランに対して、ICT機器が活用できるように費用補助等の整備を行いました。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館機能のさらなる充実を図るため、学校と町公共図書館との一層のネットワーク化推進について検討します。 個別指導の必要性が増えるにつれて、通級指導等を実施するための人員やスペースの確保が必要になります。 	○	学校教育課
	小学校5、6年生の理科の授業を中心に観察・実験活動の充実を図るため、理科専属の支援職員を2校に配置します。	理科支援員を各小学校へ配置し、5・6年生の理科授業の充実を図りました。実験準備についても、教師に対して支援することにより、担任の負担や準備時間が軽減され、児童の活動の充実につながりました。	小学校において、3年生以上の英語の教科化を見据えて、課題となる授業時数の確保について調査研究を進めます。	○	
	ALT(外国語指導助手)を活用し、保育園から中学校まで一貫した英語教育と、国際交流派遣事業として中学生を海外へ派遣し、ホームステイや現地校での体験学習を通して国際化に対応できる人材を育成します。	小学校1～4年の外国語活動の時間においては各クラス月1回(年間12回程度)、5・6年においては各クラス週1回(年間35回程度)、また中学校の英語科においては各クラスで週1回(年間35回程度)、ALTの活用を図った授業を行いました。中学生をオーストラリアへ派遣し、ホームステイや現地校での体験学習を実施しました。		○	

H27施策 (事業)名	H27施策等概要	実績内容	未実施、一部実施となった理由 その他問題点・課題点等	自己評価	担当課
②学校教育の 充実	適応指導教室「ふれあいルーム」 で、不登校児童生徒の学校への 復帰を支援します。	・「ふれあいルーム」を設置し、不登校児童生徒等を対象にカウンセリングや 学習指導を行い、集団適応と学校復帰を支援しました。	・今後の不登校児童生徒の出現 状況を考慮すると、収容能力 が問題となることから、専門相談 員の確保や活動場所の拡大につ いて検討を進めます。	○	学校 教育課
③食育の推進	栄養士による食育指導を行い、学 校給食を通して子どもたちに食の 理解、健康の増進、社会性や食 事のマナーなどの教育効果を図 ります。	栄養士による給食指導 年間を通して、各学校の学年に応じたテーマによりクラス単位で指導を行っ ています。既に大室台小学校1.2年生、酒々井小学校1.4年生、酒々井中学校 1年生を対象に、食材や食を提供してくれる人に対し感謝の気持ちを持つこと や健康で健全な学校生活を送るうえで必要な栄養素、飽食な現代の食生活を 改善する意識付け等の指導を行いました。 酒々井町産農産物の積極的な使用 酒々井町直売組合と積極的な連携を取り、旬の野菜と味噌等の加工品も給 食に使用しています。また、週4回提供される主食のご飯は100%酒々井産の お米を使用しています。	自然災害等により、給食献立に 計画していた野菜や果物の収穫 が遅れたり不作で納品が出来なく なり、急遽、産地変更や数量変更 を余儀なくされました。しかしなが ら、生産者の皆様の協力と努力 によって最小限の変更で給食の 提供ができています。	○	給食セ ンター
④文化財保存	本佐倉城と周辺文化財を総合的 に保存・活用していくために、有 識者による史跡を中心とした町づ くり検討会議を開催します。 江戸時代に栄えた旧酒々井宿を 「酒々井町の顔」として町並の保 存整備を継続的に行い、酒々井 町歴史文化基本構想の作成及び 講演会を実施します。 約3万年前の酒々井町最古の人 類生活痕跡であり日本最大級の 環状ブロック群を有する「墨古沢 南Ⅰ遺跡」の国史跡指定を目指し 保存整備事業に着手します。	史跡を中心としたまちづくり検討会議については候補委員の人選・調整が つまず、開催することができませんでした。 まちの顔づくり推進事業では、地方創生交付金を活用して作成に向けた資 料調査等の補助・作成を委託することにより、「酒々井町歴史文化基本構想」 を刊行しました。また内容周知のための説明会等も実施しました。【進捗率 100%】 墨古沢南Ⅰ遺跡保存整備事業では、保存に向けた内容確認発掘調査を10 月1日より3か月間、国・県の補助金を活用して実施し、終了しました。【進捗率 100%】	史跡を中心としたまちづくり検討 会議については、次年度に開催 します。 まちの顔づくり推進事業におい ては、引き続き県やまちづくり課と 協議を行いながら具体的な町並 み整備・内容についての検討を 「酒々井町歴史文化基本構想」の 内容との整合を図りながら行っ ていきます。	△	生涯学 習課

H27施策 (事業)名	H27施策等概要	実績内容	未実施、一部実施となった理由 その他問題点・課題点等	自己評価	担当課
⑤生涯学習	順天堂大学との連携による各種教室などにより、町民の文化・スポーツ活動の活性化を図るとともに、人生の節目を祝福する「新成人のつどい」や60歳を迎える方々の「盛年式」の開催し、「酒々井町青樹堂」では、地域づくりに活躍するまちづくり実践者の育成等を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ大会・教室:スポーツ推進委員・体育協会など各種団体に応じた大会等を計画・実施しました。 参加者4,216人(前年比81人、2.0%の増加) ・しすい青樹堂2期生(11名)4/22～3/24(23講座) ・しすい青樹堂3期生(11名)4/22～3/24(23講座) ・成人式(新成人のつどい)1/10 新成人参加者132名 ・盛年式 10/12 参加者144名 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会・教室の参加者が固定化・高齢化しているため、若年層の新規参加者を増やすことが今後の課題です。 ・青樹堂師範塾は入塾希望者が少なく、昨年度に引き続き本年度も実施を中止。また、しすい青樹堂についても受講生が少ない(定員の約半数)ことから、問題点について検討し全体的な内容等の改善をしていきます。 	○	生涯学習課
⑥学校支援	培った知識や経験を子どもたちに伝承する地域のボランティアによる学校教育支援促進事業を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・町内3小中学校とも、児童・生徒により良い教育環境を与えることを目的に、コーディネーターが、学校からの要望と地域住民や保護者からなるボランティアとをつなぎ、環境整備・授業補助などの活動を実施しました。 ・酒々井小:活動日数55日 栽培補助・総合学習補助・マシン補助・運動会道具作成等 ・大室台小:活動日数81日 ビオトープ整備・プール授業監視・書架製作・マシン補助 ・酒々井中:活動日数52日 学校行事補助・ホームページ作成・職場体験準備 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後さらに学校からのニーズを引き出していくことと、協力してくれるボランティアの確保などが今後の課題です。 ・また、平成28年度から実施する中学生対象の新規事業「地域未来塾」において生徒の学習習慣の定着と学力向上を図っていきます。 	○	生涯学習課
⑦青少年健全育成	星空等の美しい自然体験学習ができる北海道陸別町と児童の交流を図ります。また、小学校児童を対象とした補習と講座を開催し、地域と連携した土曜日の教育支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ①北海道陸別町児童交流事業の実施 8月25日～27日(2泊3日)児童19名(引率4名)の参加により実施しました。 ②土曜日の教育支援体制等構築事業の実施(こども青樹堂) 子どもたちの豊かな人間形成を育み、確かな学力の定着に向けた学習プログラムを提供することを目的とし、休業日である土曜日に子どもたちが進んで学習や活動に取り組む場として実施しました。 3・4年生クラス登録人数22人 全18回予定中18回実施 5・6年生クラス登録人数15人 全18回予定中18回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①事前学習や交流事業において、参加者がより体験を深められるよう工夫していきます。 ②習い事などで参加できない児童も多い状況ではあるが、参加児童を増やし、子どもたちの学ぶ喜びを感じる機会を増やしていきます。 	○	生涯学習課

H27施策 (事業)名	H27施策等概要	実績内容	未実施、一部実施となった理由 その他問題点・課題点等	自己評価	担当課
⑧中央公民館 耐震化	中央公民館は、11月中旬から耐震補強工事を行うため、貸館業務を中止します。	耐震補強工事執行の為、入札を実施しましたが、落札されず請負業者が決まりませんでした。中央公民館は災害時の避難場所としての役割も期待されていることから、工事の早期実施及び利用者の負担が最小限に軽減されるよう内容等を検討しておりましたが、次年度へ繰り延べすることとなりました。	工事期間中は騒音や事故等が懸念される為貸館業務を中止せざるを得ない状況であり、貸館休止期間等について100を超える利用登録団体等への周知及び活動支援の方法を検討します。 また、入札で落札されるよう、工法等の変更を検討します。	×	中央公民館

◆生活環境施策					
①消防・防災	防災訓練の実施や自主防災組織の防災資機材購入支援を行うとともに、防災用資機材や災害用備蓄品等の整備を図ります。また、土砂災害ハザードマップを作成します。老朽化した防災行政無線の機器更新、デジタル化のための実施設計を行います。消防団の処遇改善を図ります。	<p>①防災訓練については、町職員による非常参集訓練及び大室台小学校を訓練会場に災害時に関係する官・民・防災ボランティア団体等の関係機関を一同に会し全町民を対象に会場型体験訓練を10月18日に実施しました。(参加人員：職員62名、住民136名、陸上自衛隊16名、警察署2名、消防組合20名、消防団44名、佐倉交通安全協会酒々井支部5名、社会福祉協議会2名、日本赤十字奉仕団8名、NTT東日本(株)3名、千葉ガス(株)3名、広域高速ネット296(株)2名)</p> <p>②自主防災組織への資機材購入支援については、東酒々井1・3丁目自治会に補助金の交付を行いました。また、災害用備蓄品等の整備については、賞味期限の切れる災害用非常食の更新及び災害用備蓄品の補充を行いました。(アルファ米：1,100食、フリーズドライビスケット：2,736食、真空パック毛布：100枚)</p> <p>③防災事業については、町内の土砂災害危険箇所や避難行動を周知するため、土砂災害ハザードマップを作成しました。 (町全域版：A1判、町地区別版：A3判、町ホームページデータ) また、老朽化した防災行政無線の機器更新及びデジタル化を図るため、実施設計業務委託を行いました。(H28.2完成)</p> <p>④消防力の強化を図るため、前年度に引き続き、第1分団(酒々井区)の消防機庫付帯工事を行いました。(H28.3完成)</p>	<p>防災関係事業は、町として行えるものを実施しておりますが、災害時に最も必要なことは自助・共助であることから、町民の防災意識の高揚を目的に、各地域で実施する防災訓練が充実するよう必要な支援をしていきます。</p> <p>また、災害時要配慮者への支援について関係機関との連携を図りながら、災害時の避難方法等を検討していきます。</p>	○	総務課

H27施策 (事業)名	H27施策等概要	実績内容	未実施、一部実施となった理由 その他問題点・課題点等	自己評価	担当課
②中川流域防 災	調節池の整備に向けて、整備補助財源確保等を引き続き検討していきます。	国・県との協議を進めましたが、財源として見込んでいた「都市再生整備計画」による交付金の採択はされませんでした。	引き続き社会資本整備総合交付金等により、財源が確保できるよう努めていきます。	×	まちづくり課
③交通安全・ 防犯	自治会、ボランティア活動団体との協働による防犯対策を推進します。さらに総合交通政策会議の検討から、施設の整備等を行います。	①交通安全対策事業については、佐倉交通安全協会酒々井支部、佐倉警察署と協力し、春・秋2回の街頭啓発キャンペーンを実施しました。また、12月11日から31日の間、年末の交通安全運動に伴い佐倉交通安全協会酒々井支部の協力により、街頭監視の実施を行いました。 ②防犯事業については、町内の防犯ボランティア団体と犯罪防止のため、防犯活動の推進及び犯罪情報等の提供を目的に毎月、防犯連絡会を行いました。また、千葉県安全で安心なまちづくり旬間期間に佐倉警察署、防犯団体等と協力し、町内で集客力のあるJR、京成駅前及びスーパー店舗前において、犯罪被害の未然防止、防犯意識の高揚を図ることを目的に防犯キャンペーンを実施しました。	交通安全・防犯対策については、町民の意識の高揚を図ることが重要であり、特に防犯については地域ぐるみで啓発やパトロールを行うことが必要です。 今後も自治会や防犯ボランティア団体と連携し、防犯啓発活動の充実を図っていきます。	○	総務課
④環境部門	住宅用太陽光発電システム、家庭用燃料電池システム(エネファーム)及び定置用リチウムイオン蓄電池システム設置に対し補助します。	補助金予算額 住宅用太陽光発電システム 50件 7,000,000円 1kwあたり40,000円 上限3.5kw140,000円 家庭用燃料電池システム(エネファーム) 5件 1,000,000円 1基あたり200,000円 定置用リチウムイオン蓄電池システム 5件 1,000,000円 1基あたり200,000円 補助金交付確定件数 住宅用太陽光発電システム 18件 2,406,000円 家庭用燃料電池システム(エネファーム) 1件 200,000円 定置用リチウムイオン蓄電池システム 3件 600,000円	住宅用太陽光発電システムと比べ、家庭用燃料電池システム及び定置用リチウムイオン蓄電池の導入について金額的な面等からも、導入について慎重となっていることから、更なる設置へ向け普及・促進を図っていきます。	○	経済環境課

H27施策 (事業)名	H27施策等概要	実績内容	未実施、一部実施となった理由 その他問題点・課題点等	自己評価	担当課
◆都市基盤施策					
①まちづくり施策	景観条例に基づき、町の良好な景観の形成を図るための「景観計画」の策定を進めます。また、木造戸建て住宅の耐震診断及び耐震改修工事費用の一部を助成します。さらに、雨水貯留、浸透対策を踏まえた住宅リフォーム補助事業を行います。	<p>【景観計画】酒々井町の自然や歴史、文化などの景観特性を整理し、良好な景観形成のための方針や基準について検討するなど、酒々井町独自の景観計画の策定を進めています。</p> <p>【住宅耐震・住宅リフォーム】木造戸建て住宅の耐震診断及び耐震改修工事ともに交付申請がなく実績がありませんでした。住宅リフォームについては、30件の交付申請があり、全て補助金を交付しました。</p>	「酒々井町歴史文化基本構想」等との整合を図り、酒々井町独自の景観計画の策定を進めていきます。 耐震診断や耐震改修が進まないのは、経済的な理由で大がかりな耐震改修が出来ないと思われることから、より負担の少ない「耐震シェルター」等の補助制度を検討します。	△	まちづくり課
②町道の整備	通学路等の安全確保を優先して進め、道路改良事業を進めます。また、交通安全施設や防犯街灯の整備、維持管理を行います。	<p>【交通安全対策事業】 通学路である町道02-009号線(酒々井地先)においては、用地買収を実施しました。(用地11件契約) 防犯街灯については、年間を通し灯具の修理、電球交換等速やかな対応が行えました。(町管理防犯街灯117箇所、自治会管理防犯街灯111箇所)</p> <p>【道路改良事業】 町道02-011号線(本佐倉地先)は、伐採工事及び盛土工事を実施しました。 町道02-008号線(上岩橋地先)は、設計及び用地買収を実施しました。(用地1件契約) 町道02-012号線(飯積地先)と町道02-006号線(上岩橋地先)においては、測量を実施しました。</p>	未買収地について、引き続き関係地権者の協力が得られるよう努めていきます。	○	まちづくり課
◆産業経済施策					
①企業誘致	(仮称)酒々井町企業立地ガイドを作成し、酒々井南部地区新産業団地と墨工業団地への優良企業の立地を促進します。	優良企業の立地を促進するため、「酒々井町企業立地のご案内」を12月作成しました。内容は、町の位置図、インターチェンジ活用により交通アクセスの向上、南部地区新産業団地及び墨工業団地の概要、主な開発条件、インフラ状況、用地の空き状況の紹介、企業立地優遇制度の紹介と立地のメリットを掲載しました。 このパンフレットを基に、県を含めた企業23社を訪問し、企業誘致を図りました。	墨工業団地については、開発要件の関係から、進出企業が制約されることなどから、緩和することを検討していきます。	△	経済環境課

H27施策 (事業)名	H27施策等概要	実績内容	未実施、一部実施となった理由 その他問題点・課題点等	自己評価	担当課
②農業施策	過去に実施した債務負担行為に基づく農道や農業排水路等の整備に係る費用の返済を進めます。また、国営印旛沼二期土地改良事業に係る負担金の一部を基金に積み立て、将来負担の軽減を図ります。	<p>農業排水路等の整備(昭和63年度～平成20年度:20事業実施)に掛かった費用を平成40年度までに返済になっていたが、平成27年度から繰上償還を行い、平成31年度までに完済する計画としました。このため年度当初の償還について残18事業分となっているが、本年度は通常償還分に加え、3事業分の繰上償還(11,736千円)の計34,173,730円の返済を行いました。</p> <p>国営印旛沼二期土地改良事業に係る負担金を平成31年度に一括支払いを行うため、農業基盤整備基金条例を設置して、平成22年度から平成31年度まで予算の範囲内において、基金に積み立てる予定であり、今年度は平成28年3月に37,366千円の積み立てを行いました。</p>		○	経済環境課
③観光施策	JR・京成酒々井駅の観光案内板を外国語表示型のデザインに一新し、酒々井ICに大型観光案内板の設置に向けた用地取得を行います。また、プレミアム・アウトレット内の「酒々井コミュニケーションセンター」で町の観光物産情報を広く提供します。ちびっこ天国は、検討委員会からの提言を受け、3年間の指定管理期間により管理運営を行い、管理棟は、耐震改修を検討します。コミュニティプラザとハーブガーデンは、検討委員会からの提言を踏まえ、施設の改修や運営方法を検討します。	<p>JR酒々井駅及び京成酒々井駅に設置している観光案内板を外国語表記型に一新するため、平成28年3月案内看板を制作し、設置しました。</p> <p>酒々井IC前に設置予定の大型観光案内板については、平成27年度中に土地取得、平成28年度に大型観光案内板の設置を計画していたが、土地所有者が亡くなり、相続人との協議により土地取得が断念されました。</p> <p>ちびっこ天国は現在平成26～平成28の3年間の指定管理の運営を行っており、管理棟については耐震診断及び補強、施設改修の設計をしました。コミュニティプラザ及びハーブガーデンについては、現在施設改修と今後の施設運営方法について検討しました。</p>	<p>酒々井プレミアム・アウトレットへの来訪者を町内の施設へ誘客するための、より効果的な広報が必要です。</p> <p>施設運営等については、民間活力を活かした運営・改修について、事業効果が図られるよう、更に検討していきます。</p>	△	経済環境課

H27施策 (事業)名	H27施策等概要	実績内容	未実施、一部実施となった理由 その他問題点・課題点等	自己評価	担当課																																																																																														
◆地域社会と行財政施策																																																																																																			
①住民参加・協働	<p>公益活動の拠点として「井戸端」及びミーティングルームの運営・充実を図ります。また、住民活動団体から具体的な提案を求める課題提案型補助金を創設します。地域住民主体の都市公園等の環境美化活動等への支援や生活環境整備工事に必要な資材等の支給を行います。地域課題解決や新たな町の政策形成等に寄与する創造的なまちづくりの研究事業を行う酒々井まちづくり研究所の管理運営と、輝く創年コミュニティ・フォーラムを開催します。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="8">「井戸端」利用実績(延べ)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>上半期実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">団体</td> <td>21件</td> <td>20件</td> <td>15件</td> <td>18件</td> <td>14件</td> <td>17件</td> <td>105件</td> </tr> <tr> <td>209人</td> <td>179人</td> <td>159人</td> <td>205人</td> <td>175人</td> <td>222人</td> <td>1,149人</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>219人</td> <td>185人</td> <td>266人</td> <td>256人</td> <td>209人</td> <td>219人</td> <td>1,354人</td> </tr> <tr> <td>内60歳以上</td> <td>211人</td> <td>175人</td> <td>253人</td> <td>225人</td> <td>194人</td> <td>204人</td> <td>1,262人</td> </tr> <tr> <th></th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>年間実績</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">団体</td> <td>19件</td> <td>18件</td> <td>17件</td> <td>19件</td> <td>19件</td> <td>20件</td> <td>217件</td> </tr> <tr> <td>210人</td> <td>211人</td> <td>234人</td> <td>200人</td> <td>204人</td> <td>187人</td> <td>2,395人</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>310人</td> <td>244人</td> <td>218人</td> <td>209人</td> <td>256人</td> <td>282人</td> <td>2,873人</td> </tr> <tr> <td>内60歳以上</td> <td>292人</td> <td>236人</td> <td>217人</td> <td>199人</td> <td>240人</td> <td>258人</td> <td>2,704人</td> </tr> </tbody> </table> <p>協働のまちづくり研修会 平成27年11月8日実施 第3回「輝く創年とコミュニティ・フォーラム」 (参加者)一般・職員195名 平成27年10月1日実施(参加者)一般 24名 平成28年2月3日実施(参加者)職員 21名 平成28年2月23日実施(参加者)職員 23名</p> <p>公園等愛護活動推進事業認定団体</p> <table border="1"> <tr> <td>実施団体</td> <td>12団体</td> <td>実施公園等</td> <td>19箇所</td> </tr> </table> <p>資材等支給事業実施実績</p> <table border="1"> <tr> <td>実施地区</td> <td>地区実施 / 2地区実地</td> </tr> </table> <p>酒々井の里山林協働再生事業実施実績</p> <table border="1"> <tr> <td>実施地区</td> <td>地区実施 / 2地区実地</td> </tr> </table>	「井戸端」利用実績(延べ)									4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期実績	団体	21件	20件	15件	18件	14件	17件	105件	209人	179人	159人	205人	175人	222人	1,149人	個人	219人	185人	266人	256人	209人	219人	1,354人	内60歳以上	211人	175人	253人	225人	194人	204人	1,262人		10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間実績	団体	19件	18件	17件	19件	19件	20件	217件	210人	211人	234人	200人	204人	187人	2,395人	個人	310人	244人	218人	209人	256人	282人	2,873人	内60歳以上	292人	236人	217人	199人	240人	258人	2,704人	実施団体	12団体	実施公園等	19箇所	実施地区	地区実施 / 2地区実地	実施地区	地区実施 / 2地区実地	<p>(井戸端) 更なる利用率の向上と利用者同士の連携等を深める必要があります。また、団体の活動は活発に行われていますが、利用者が固定している傾向にあるため、どなたにでも気軽に利用しやすい環境づくりが必要です。</p> <p>(公園等愛護活動推進事業) 活動団体の増加とともに草・枝等の回収量も増加しているため、回収における工夫をしていきます。(大量の場合のみ業者委託あり)</p>	○	住民協働課
		「井戸端」利用実績(延べ)																																																																																																	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期実績																																																																																										
		団体	21件	20件	15件	18件	14件	17件	105件																																																																																										
			209人	179人	159人	205人	175人	222人	1,149人																																																																																										
		個人	219人	185人	266人	256人	209人	219人	1,354人																																																																																										
		内60歳以上	211人	175人	253人	225人	194人	204人	1,262人																																																																																										
			10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間実績																																																																																										
		団体	19件	18件	17件	19件	19件	20件	217件																																																																																										
			210人	211人	234人	200人	204人	187人	2,395人																																																																																										
個人	310人	244人	218人	209人	256人	282人	2,873人																																																																																												
内60歳以上	292人	236人	217人	199人	240人	258人	2,704人																																																																																												
実施団体	12団体	実施公園等	19箇所																																																																																																
実施地区	地区実施 / 2地区実地																																																																																																		
実施地区	地区実施 / 2地区実地																																																																																																		

H27施策 (事業)名	H27施策等概要	実績内容	未実施、一部実施となった理由 その他問題点・課題点等	自己評価	担当課
②総合計画	第5次総合計画「前期基本計画」が平成28年度で計画期間が終了するため、後期基本計画作成のための基礎調査を行います。また、2060年までの人口ビジョンや地方版総合戦略を作成します。	平成27年10月末に「酒々井町人口ビジョン」及び「酒々井町まち・ひと・しごと創生総合戦略～100年安心して住めるまちづくりプラン～」を策定しました。	酒々井町において、“日本で一番古い町”を誇りに、今後、予測される急激な人口減少社会の進展に向け、100年安心して住めるまちづくりを推進するため、町創生総合戦略をアクションプランとして位置づけ、町総合計画後期基本計画を策定するとともに、住民と行政が一体となり、町全体で地方創生に取り組むことが重要です。	○	企画財政課
③戸籍・住民票等	戸籍、住民票等の作成管理、住民の基本的な権利・義務の発生、身分事項の変更等を正確かつ適正に管理します。また、平成28年度から開始される「社会保障・税番号制度」で使用する中間サーバープラットフォームの整備を進めます。	平成27年度は、戸籍届書907件、住民異動届3,306件を処理しました。「社会保障・税番号制度」で使用する中間サーバープラットフォーム(平成29年1月稼働予定)について、平成28年4月から予定されている接続試験を行うための整備を実施しました。	今後も、戸籍、住民票の正確かつ適正な作成・管理を行っていきます。中間サーバープラットフォームについては、平成29年1月稼働に向けての整備(接続試験等)を引き続き進めていきます。	○	税務住民課
④庁舎耐震化	分庁舎を建設し、災害対策本部を設置できるスペースなどを確保します。	平成27年8月に非常用発電設備を備えた分庁舎建設が完成し、災害対策本部を設置できるスペースなどを確保しました。		○	企画財政課